

明日断水が起こったら

山添村立山添中学校 三年

山口 裕子

「めっちゃ水があふれてくる！」
家で育てた白菜を収穫すると切り口から大量の水分がでてきました。それもそのはず、白菜は約九割が水分によってできています。水は私たちにとって身近すぎる存在であり、生活にかかせません。

しかし、水は必ず手に入るものだとは限りません。実際世界中で、きれいな水を得られない人や災害によって普段手に入る水が急に得られなくなる断水も起こっています。昨年十月に和歌山市で起こった水道用の橋の崩落による断水。

「災害以外にも断水って起こるんやな。」
隣でそのニュースを見ていた姉が言いました。私は生まれてから断水を経験した記憶がありません。そのため断水は地震などしか起こらないと思っていました。たしかに災害で起

こることが多いけれど調べてみると水道管の工事や凍結でも起こることが分かりました。今回の断水は五日間続きました。

甚大な被害をもたらした東日本大震災では東北だけではなく関東にも断水が起きました。津波で水源や浄水場が被害を受けたり、繰り返かえされる揺れで水道管が破損したりと約二百五十万戸が断水したようです。三月と

いう寒い時期に温かいお風呂に入れないことは大変だと思いました。断水は一週間で五十パーセントは復旧したそうだけど、備えてある水にも限りがあるので水を得る方法を知る必要があるなと思いました。

災害では被災地以外の地域でも断水が起こることがとても多いようです。近々起こると言われている南海トラフ地震では私が住んでいる近畿に大きな被害が起きると想定されてい

ます。断水も近畿で二週間以上は続いていくと予想されています。一日に必要な飲料水が一人三リットルだとすると二週間で四十二リットル、二リットルペットボトルが二十一本も必要ということになります。一人分なら頑張って備蓄できるかもしれないけれど私の家族は七人もいるので備蓄は不可能です。母に何リットルの水を備蓄してあるのかを聞くと「二リットルのペットボトルが十個ぐらいあるし、いつものお茶とかジュースもあるから大丈夫なんじゃない？」と答えられました。おもっていたより保管してあったので良かったです。

私は水をどれぐらい一日でつかっているのか気になり調べてみました。一月は四万二千リットルの水を使用していました。一日では千四百リットル。七人家族なので一人二百リットルもの水を使用しています。お風呂がだいたい二百リットルから二百五十リットルなので私だけでお風呂一個分の水をつかっています。私は学校などでも水を使用しているの、水を大切に使えるように節水をしたいと思えます。

もし明日断水が起こったらあなたはどうしますか。水というものは身近にありすぎる分大切さに気づくことが少なく思えます。その水が無くなったときに自分自身が生きていくように必要な分の水の備蓄をしておくこと。そして、日々使っている水の量や安全性などの知識を幼いときからつけておくこと。この二つができていけば水が急に無くなったとしてもあせらずに生きていけると思えます。

私たちの命をつないでいく水はあたり前にあるけれどあたり前ではない。そのことを忘れずに過ごしていきたいです。